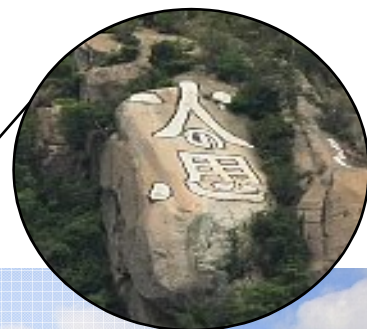
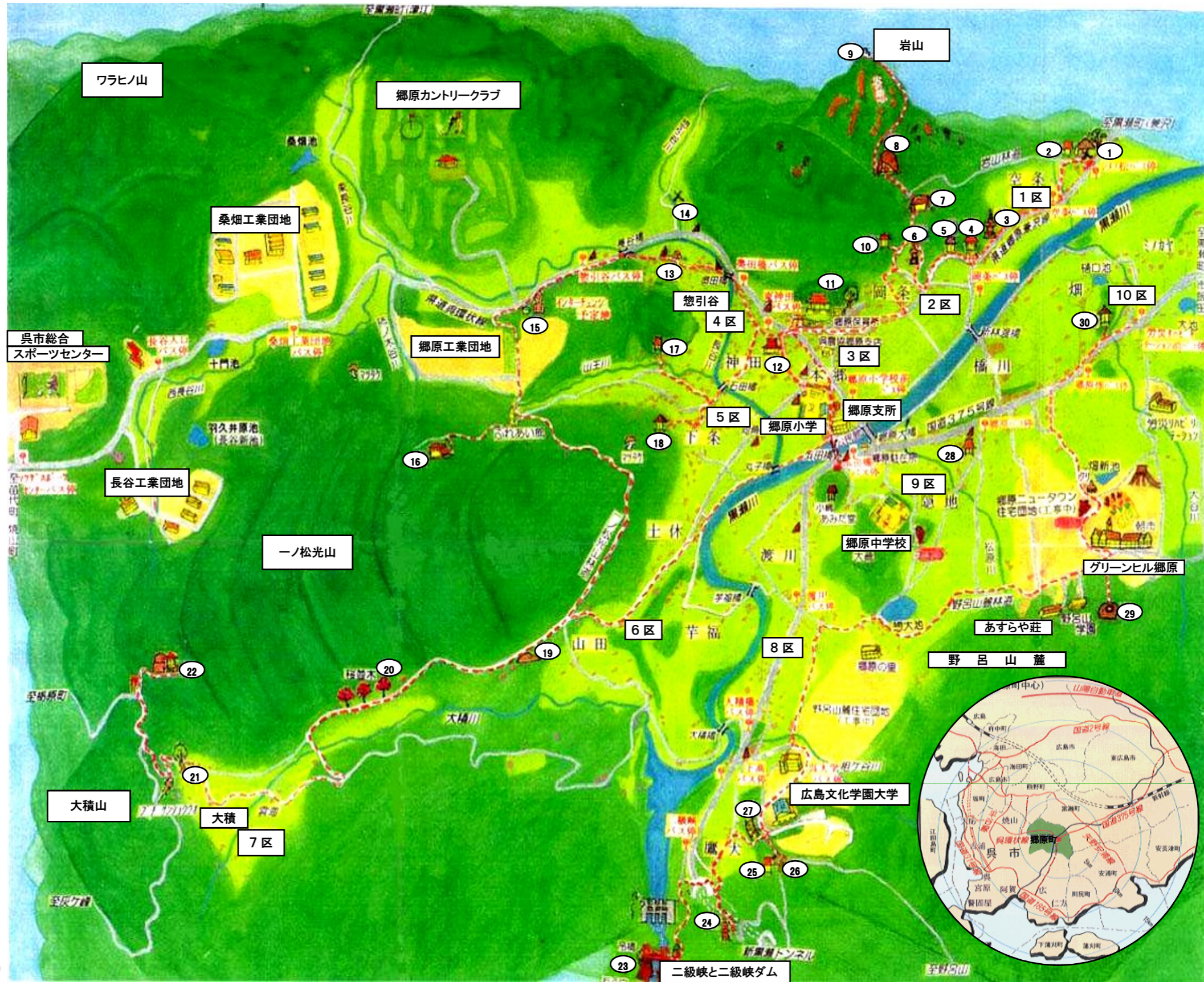
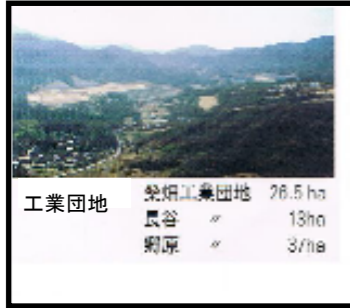


# 郷原地区まちづくり計画



郷原町まちづくり推進委員会

# 郷原町マップ



## その他の史跡

- ① シメノ松古戦場跡(千人塚)
- ② 弥生式石器土壌(穀神社)
- ⑥ 五輪塔
- ⑨ 岩山城跡
- ⑬ 一ツ石(ひとついし)
- ⑭ 打田ヶ原古戦場跡(うったがはら)
- ⑮ 郷原遺跡(いせき)
- ⑯ 火神嶽古墳(ひじんだけこふん)
- ⑰ 山王社(さんんのうじや)
- ⑱ 上の原あみだ堂
- ⑲ 牛石
- ⑳ 桜並木
- ㉑ 郷原町のエノキ
- ㉓ 二級峡と二級峡ダム
- ㉕ 下高観音堂(しもこうかんのんどう)
- ㉖ 大根坂峠(おおねさかとうげ)
- ㉗ 旧街道の石畳跡(いしだたみあと)
- ㉘ 松原社(黄瀨社:おうばんしゃ)
- ㉚ 地藏堂(じぞうどう)



## はじめに

郷原町は呉市の北東部に位置する面積約21km<sup>2</sup>の町で、町内全域には田畑が広がり、田園地帯と住宅地のバランスがとれた町です。

春には咲き乱れる花、夏には舞いあがる蛍、秋には米の収穫風景、冬には壮大な雲海が見られ、四季の移ろいを肌で感じることができる自然環境を有しています。

近年、昭和60年代前半以降は呉新世紀の丘開発構想により、産・学・住・遊の調和のとれた総合的な都市開発が進み、3,000人だった人口も今では5,000人に届こうかというほど増加しています。

現在は、東広島・呉自動車道とふるさと林道郷原・野呂山線の建設が急ピッチで進み、更なる発展が期待されています。

### 新世紀の丘開発構想による足跡

昭和63年	7月	桑畑工業団地完成
平成 3年	9月	長谷工業団地完成
平成 5年	4月	グリーンヒル郷原オープン
平成 7年	3月	郷原工業団地完成
平成 7年	4月	呉大学開校
平成 9年	2月	学びの丘住宅団地造成完了
平成10年	10月	グリーントウン郷原(野路の里)分譲開始



## 計画の基本課題

郷原町は、広島空港・山陽自動車道路との呉市への接点。内陸部の拠点として、活力ある呉市の発展のため重要な役割を担っています。

現在、東広島・呉自動車道の建設が急ピッチで進み更なる発展が期待されるとともに、呉市の北の玄関口としての位置付けも増してくると思われます。

郷原町は、地形的な面で見ると呉市の中央よりは東広島市を向いているのではないかと考える。それを逆に利用し「まちづくり計画」を実施することにより、東広島との違いを出し、呉市をアピールしていくことができるのではないかと考えています。

今回の地域まちづくり計画を策定するにあたり、町内の様々な団体で構成される郷原町まちづくり推進委員会を組織し、協議を重ねました。

また、全体協議とは別に、より突っ込んだ協議のための策定委員会も立ち上げました。

協議を繰り返す中で、「豊かな自然環境と地域住民の深いつながりを次世代につなぐこと」の重要性を再認識することになり、このことを念頭に計画を策定しました。

### 1 将来像（まちづくりのスローガン）

#### 「安心して生活できる ほっと・ホット 郷原」

自然豊かな環境の中で、人と人とのふれあいを大事にして『ほっと』くつろげるまちづくりをすることにより、一人一人が安心して暮らせるまち、また、元気あふれる事業を実施することにより『ホット』熱く燃える活力あるまち郷原を目指していきます。



## 2 振興方針と活動方針

### (1) 安心して暮らせる「郷原」

郷原町は、今春 交通死亡事故ゼロ1,000日を達成し、現在も継続中です。

今後も、地域住民の安心・安全のための地域住民による交通安全・防犯活動を実施していきます。

#### ①防犯パトロールの実施

各種団体が毎月防犯パトロールを実施します。

#### ②交通安全指導の実施

小・中学校全登校日に国道375号線沿い2箇所  
で安全協推進議会等の団体が毎朝交通安全指導  
を実施します。

「1のつく日」に町内8箇所で交通安全指導を実施します。

#### ③「声かけ運動」の実施

登校時:「1のつく日」に町内3箇所で声かけを実施します。

下校時:小学校の下校に合わせて各故郷づくり委員等が声かけを実施します。



### (2) 元気あふれる「郷原」

高齢化が進む中、健康で明るいまちづくりを目指し、地域住民の元気のための地域住民による健康づくり事業を実施していきます。

#### ①ウォーキングの実施

毎月1回、町内パトロールをかねてのウォーキング(年間12コース)を実施します。

11月郷原町ウォーキング大会を実施します。

#### ②各種スポーツ大会の実施

ソフトボール大会・ロードレース及び地区  
対抗駅伝大会・グランドゴルフ大会・卓球大会等を実施します。

#### ③その他健康づくり事業の実施

体力測定・健康づくり講演会・いきいきサロンで専門医から健康指導の受講等  
を実施します。



### (3) 文化かおる「郷原」

歴史のある郷原町の文化を次世代へ継承するとともに、地域住民の豊かな心の育成のための地域住民による文化活動を実施していきます。

#### ①町民文化祭の開催

毎年、10月第3土、日に公民館において町民の方々の力作を発表する機会をつくと共に文化芸術活動を推進していきます。



#### ②無形文化財の祭りの開催

毎年、11月3日文化の日に新堂平神社で子供みこし・奴踊り・巫女舞・獅子舞などが行われます。

#### ③盆踊り大会の開催

町を挙げて盆踊り大会を開催します。  
平成21年度に「郷原音頭」も出来上がり、披露されました。  
個性豊かな踊りもありバリエーションも増えました。

#### ④史跡めぐりウォークの開催

年6回、郷原町文化連盟が主催で史跡を訪ね郷土史を学びます。

### (4) 絆を深める「郷原」

ここ数年で団地も増え、また、核家族化が進む中、地域の交流の機会も少なくなることが考えられます。そこで、地域住民の世代を超えた交流のための地域住民による行事を実施し絆を深めていきます。

#### ①いきいきサロンの開催

毎月1回、70歳以上を対象者として、地域の高齢者の絆を深めるとともに、高齢者が健康で明るく暮らせるようサロンを開催します。



#### ②昔あそびの指導

町民有志による小学生対象の昔あそびを伝授していきます。

#### ③町民運動会の開催

子供からお年寄りまでが、大運動会に参加。

#### ④とんど祭りの開催

伝統行事を守って、子供たちに伝えていきます。  
平成15年には、高さ37.5メートルのとんどを制作しました。

## (5) 美しい町「郷原」

郷原町は、呉市の北部に位置しています。周りを緑豊かな山々に囲まれ、南北を黒瀬川が貫流し、その流域は田園郷が広がり、自然環境に大変恵まれています。景観・環境を守るために地域住民による環境美化活動を実施していきます。

### ①土手の草刈りの実施

景観及び通学路確保のために、各種団体等で市道と兼用となっている河川堤防の草刈を実施します。

### ②町内一斉清掃の実施

年末に、道路等の一斉清掃を行います。

### ③環境美化の推進

ポイ捨て・不法投棄の撲滅のための啓発及び広報を行います。

### ④「ホタル」の舞う郷づくり推進

河川の清掃及び環境美化を推進することにより、ホタルのすめる環境を広めていきます。



# 郷原の史跡・名勝

## 町の沿革

郷原町は、縄文時代から古墳時代の『郷原遺跡』『火神獄古墳』などの史跡があり歴史の大変古い町です。町名の由来は、南北朝時代、黒瀬郷(ムラ)であった郷原に農民の地縁的結合である『惣村』ができたのと、地形的に黒瀬川流域の平原であったことから、『郷原』と呼ばれるようになったと云われています。

戦国時代には、『郷原氏』という地名を名乗った武士が見られ、当時、難攻不落の岩山城があった郷原は守護大名の大内氏の東西条の防衛の中核拠点でありました。今も、それにちなむ史跡が多く残っています。

江戸時代以降、賀茂郡郷原村となり比較的大きな村として農業を中心に発展してきました。

昭和31年経済的につながりの深かった呉市と合併し『呉市郷原町』となりました。現在、内陸部の拠点としてテクノポリスや新世紀の丘構想により『産業・学術・住居』の調和のとれた町となっております。

郷原町は、緑豊かな山々に囲まれ、黒瀬川の流れ、のどかな田園郷など自然環境に大変恵まれています。

“風景よし” “史跡名所よし” “人情さらによし” の『郷原』は、私たちの自慢のふるさとです。



火の用心

岩山は、その名の通り標高419.5mの岩の山で、急斜面にそそり立っている岩峰であります。その雄大なる山姿は郷原のシンボルで、呉市の名勝になっています。その昔、南北朝時代に黒瀬川の領主の新居氏が頂上に山城を築いたと云われており、戦国時代には大内氏の東西条防衛の重要な城でありましたが、天文23年(1554年)最後の城主の岩見源之丞は毛利軍に攻められ岩山城は落城しました。頂上には今も本丸・郭・石垣・井戸などの史跡が残っており、山麓にはシメノ松や打田ヶ原の古戦場跡があります。頂上からの展望は絶景で、西条盆地、広湾まで見られます。



宝篋印塔群

ほうきょういんとうぐん

### 宝篋印塔群

中世南北朝時代、地頭で黒瀬地域を支配し岩山城主であった新居氏一族の墓であると言う。5基あり、5代約150年間この地域を支配していたと思われる。



胡神社 (胡原社)

えびすじんじゃ えびすはらじゃ

### 胡神社 (胡原社)

戦国時代、岩山城主が神社前一带に黒瀬川を利用した堀のある約6町歩の城主の館「土居」を築造し、工事安全と五穀豊穰を祈願するため、長享元年(1487年)勧請したものである。当時は相当大きな神社として栄えたが、岩山城落城後は小社となり村差出帖には胡堂とあります。祭神は恵比寿様の事代主命ほか三神で、木造の一刀彫の神像で中世の頃の作。戦前まで村管理の神社であった。



田福寺阿弥陀堂

でんぷくじあみだどう

### 田福寺阿弥陀堂

中世南北朝時代、岩山城下の土居の近くに禅宗の田福寺があった。当時は寺領もあり栄えていたが江戸時代に廃寺となる。本尊が現在の阿弥陀堂に残っている。





いしぶろあと

**石風呂跡**

岩屋の中で松や柴木を焚き岩石を熱し水を打ちムシロなどを敷き天然サウナ風呂の湯地場として、江戸時代から昭和の初め頃までおおくの人々に利用された。



やくしどう どうくつ

**薬師堂と巨岩・洞窟**

岩山山麓の中腹に特に大きな巨岩があり、その岩下に薬師堂があります。戦国時代、岩山城主がこの堂を創建したと云われ、宝永4年(1707年)の村差出帖に薬師堂が見られ、古くから薬師信仰の霊地として近郷から参拝者が多かったです。本尊は薬師如来で、脇侍として、日光月光菩薩、眷属12神将像があります。本堂後部に洞窟があり、入り口は狭く中は広がっている。



じん でんしゃ こうじんしゃ

**神田社 (荒神社)**

長谷川流域の土地守護神として元惣荒神社。明治時代に現在地に移転。



ぜにがみいわ

**銭神岩 (市天然記念物)**

野呂山麓の山中にあり、高さ3m、周囲13.8mの巨大な流紋岩の大岩で、昔から「銭の神様」として信仰されています。民俗学的な巨岩信仰ですが、最近でも宝くじに当たったという話を聞きます。芸藩通志という古文書に「銭神岩、郷原村野呂山の内銭神原にあり、俗伝に除夜に金鶏石上に鳴く」とあり、民俗学に云う金鶏伝説の一つ。銭神岩は呉市の巨岩文化財第1号。



じょうやどう

**黒瀬街道の常夜燈**

(市史跡文化財)

二級峡付近の旧街道は七曲がり急坂で交通の難所であったため、明治の初め頃まで多くの人々に利用された。



しんどうひらじんじや

**新堂平神社**

岩山城落城後の毛利氏の世、郷原は巖島神社の領地であったので、永禄3年(1560年)巖島神社から市杵島姫命を祭神として勧請され巖島大明神社が建てられた。明治以後に新堂平神社と呼ばれるようになり、戦前まで村の氏神社でした。祭りは11月3日に行われ、本祭りには鬼・奴・笛・太鼓などにより、神輿行列がにぎやかに行われます。境内には岡野社と招魂社もあります。



しんどうひらじんじや

**新堂平神社のシノキ**

周囲6m、高さ21m、樹齢400年の大木で、呉市天然記念物に指定。



じょうこうじ

**浄光寺**

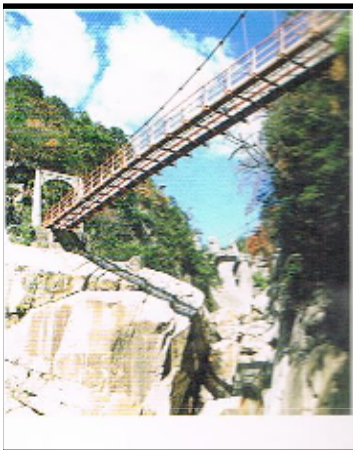
郷原には古くは田福寺という寺があったが、岩山城落城後に廃寺となり長く寺格を持った寺がなかったので、明治25年(1892年)大阪の船岡山浄光寺の寺蹟を譲受し、西神田の宮後堂に移転されました。その後、現在地に移転し再建された。この浄光寺の第五代了真は、本願寺中興の傑僧である蓮如上人の直弟子で、蓮如上人二十四輩といわれる由緒ある寺です。宗派は浄土真宗本願寺派。



いせじや だいじんじや

**伊勢社(大神社)**

江戸時代の寛政5年(1794年)大積長百姓九郎右衛門が伊勢宮に参って勧請し、翌年の大干ばつで雨乞いを行ったら、大雨が降り村の神様になりました。祭神は天照皇大神で、御神室は巨岩に昔42日かかって掘られたものです。江戸時代は天照大神社と呼ばれていましたが、明治の初め伊勢社と改称し、戦前まで村管理の神社であった。祭りは10月上旬に行われる。



にきゅうきょう おうけつ

**二級峡と甌穴(県名勝天然記念物)**

二級峡は、東広島市志和町を源流とする黒瀬川が、黒瀬盆地南端の郷原町において一大断崖に接し、約100mの落差をつくり花崗岩の基盤を浸食して形成した特殊な峡谷です。延長約300mで、S字状の曲流となり何段もの滝や甌穴群を形成して後退をつづけ、水平的にも垂直的にも複雑きわまる天然の渓谷美が見られます。滝は二級滝の女滝(高さ約45m)や男滝及び渦滝・霧滝などがあり、甌穴群はダム下と二級滝上段に二群あります。霧滝上段に吊橋が架けられており、直下に滝や甌穴が見られ、二級ダムもあり、一帯は自然公園で散策コースです。